



12月 誕生会



KOBE Wind Symphonica

・・・懐メロ・童謡・唱歌・Xmas song を演奏・・・

施設サービス課 林 光毅

「師走」の語源には諸説あります。最有力説は「師匠の僧が 経をあげる為に、東西を忙しく馳せる月」で『師馳す(しはす)』が転じて『師走』となったとする説。その他「年が果てる」を意味する『年果つ(としはつ)』が変化した説、「四季が果てる月」を意味する『四極(しはつ)』とする説、「一年の最後になし終える」という意味の『為果つ(しはつ)』等々があります。街中でクリスマスソングが聞かれる今日この頃。12月13日 誕生会とクリスマス会を開催しました。今年は、吹奏楽団・KOBE Wind Symphonica (指揮者 横尾 浩貴氏)の有志50名が訪問。



昭和63年 同じ高校の吹奏楽部の仲間が卒業後に「だれでも参加できる市民バンドを創ろう」と友人や先輩たちに声をかけて誕生。児童施設や高齢者施設への訪問演奏や地域のイベント出演等を中心に活動されている団体です。

まずオープニングは、昔懐かしい青春歌謡曲「青い山脈」からスタート。演奏にあわせて口ずさんでおられる方もお見受けしました。続いて「いつでも夢を」「津軽海峡冬景色」。懐かしい思い出の曲として「人生いろいろ」「上を向いて歩こう」「美空ひばりメドレー」と続けました。団員の方は赤いとんがり帽子を被ったり、舞台ではクリスマスのデコレーションも飾られ、最後に季節柄「Xmasメドレー」が演奏され、割れんばかりの拍手が送られました。演奏途中で楽器紹介もあり、昭和歌謡から演歌・唱歌・クリスマスメドレー、アンコールを含めた9曲を生演奏。とても親しみやすい楽曲の演奏を聴き、暖かな雰囲気にもまれ手拍子や声援を送られていました。年内最後の行事として華やかで楽しいクリスマス会となりました。